

研究活動報告

第19回アジア・メガシティ大学間セミナー

韓国・ソウルの漢陽大学にて、2014年8月27日(水)～30日(土)の期間、アジア・メガシティ大学間セミナーが開催された。この会議は、毎年アジア(含:極東ロシア)におけるメガシティの建築・都市計画関係大学が持ち回りで開催しているもので、第19回目の今回は、日中韓、ロシア、フィリピン、アメリカなどから114名の研究者・学生が参加した。セッションは、スマート都市計画、都市再生、空間分析、持続可能な開発、歴史都市遺産保全、コミュニティー開発、災害予防とリスク・マネージメント、環境とエコシステム、運輸システム、建築デザイン、都市インフラ管理、ランドスケープといったテーマで行われた。筆者(国際関係部長林玲子)は「人口高齢化時代のメガシティ形成—日中韓の移動性向比較」というタイトルで発表を行った。日中韓比較においても、広く世界の国々と比較しても、韓国人はよく動くことがわかってきているが、韓国の不動産専門家より、韓国独自のチョンセ(伝貰)という賃貸方式が影響しているのではないか、というコメントがあった。また今回はロシア(ハバロフスク)からの参加も多く、中露国境地域の近年の開発や歴史的な国境付近の都市形成過程など、興味深い発表も多かった。(林 玲子 記)

少子高齢化に対する政策対応の韓日比較セミナーへの参加

韓国保健社会研究院(KIHASA)が主催する「少子高齢化に対する政策対応の韓日比較セミナー」が2014年9月5日に韓国のソウル市庁舎にほど近い大韓商工会議所で開催された。同セミナーではKIHASA 院長최병호氏(Tchoe, Byongho)、韓国保健福祉部人口政策室長이태한氏(Lee, Taehan)の挨拶に続き、KIHASA の이삼식氏(Lee, Samsik)及び정경희氏(Chung, Kyunghee)がそれぞれ少子化対策、高齢化対策に関する政策の韓日比較に関する研究報告を行い、研究報告に対するパネルディスカッションが行われた。報告者は、이삼식의研究報告に対する討論者として出席し、研究報告に対するコメントの他、最近の日本における人口関連政策の新しい展開として地域人口の減少対策に関連する動向を紹介した。また、滞在中にはKIHASA 人口政策部の研究員と日韓の人口高齢化の要因と展望に関し社会・政治・経済・文化的変動について専門的な意見交換を行う機会が豊富にあり、有意義な休暇を過ごすことができた。(菅 桂太 記)

第24回日本家族社会学会大会

第24回日本家族社会学会大会が2014年9月6日～7日に東京女子大学において開催された。2日間にわたり、9つの自由報告セッション:1. 女性の就業, 2. 教育・親子関係, 3. 育児支援, 4. 家族に関する規範, 5. グローバル化と家族, 6. 「親」であること, 7. 男性の家事・育児, 8. 結婚・離婚, 9. 中期親子関係・介護, 5つのテーマセッション:1. 日本国内における結婚と家族の地域研究, 2. <民主的>家族の再検討, 3. 子どものいない有配偶・無配偶男女の「子どもをもつこと」について, 4. ライフイベントと家族—NFRJ-08 Panel による分析, 5. 親子関係と子育てをめぐる新たな秩序と